



認定NPO法人

さわやか青少年センター

ふれあいボランティアパスポート手引き

(必ずお読み下さい)



【さわやか青少年センター】

さわやかセンターは、青少年一人ひとりの生きる力の根幹である『人間力』

- ・自ら意欲的に生きていこうとする“自助の力”と、
- ・みんなで助け合って生きていこうとする“共助の力”

を青少年が自ら育むよう支援することを目的とする団体です。

1. 「ふれあいボランティアパスポート」は何のために？(趣旨)

■子どもたちの『人間力』を育むには、「体験」が重要です。「体験」の場は、子どもと「社会」の接点です。

子どもは、人々とのふれあいや様々な体験を経て、コミュニケーション能力、主体性、協調性、企画力、創造力、表現力、行動力、その他、様々な能力や態度とともに自己肯定感、思いやりの心などを育み、全体を人間力(「自助の力」と「共助の力」)として育てていきます。

そして、地域社会とふれあうことで「市民」としての意識を育てていきます。

■「ふれあいボランティア体験学習」は、「ふれあいボランティア体験活動(通称:ふれあいボランティア活動)」を通じて「ボランティア活動」を学ぶとともに『人間力』を育む最も有効な教育活動の1つです。

◆「ふれあいボランティア体験学習」

学校教育及び社会教育の場で行う教育活動で、先生や地域の大人の管理下(責任)の元、児童・生徒が様々な「ふれあいボランティア活動」を行い、「ボランティア活動」の意義や地域、社会の課題解決の取り組み方等について学ぶとともに、『人間力』を育むことを目的とした教育活動です。さわやか青少年センター(以下、SSCとする)では、この「ふれあいボランティア体験学習」を進めています。



(「総合的な学習の時間」における地域課題解決学習やサービスラーニングとして増えてきています。)

◆「ボランティア活動」

学校教育(学校管理下)及び社会教育における教育活動ではなく、地域や社会で共通の問題で困っている人を助けたい、困っていることを解決したいと思った人たちが、対価を得ることを目的とせず自分から進んでその問題の解決のために自らの責任で行う社会活動です。

- ・ふれあいボランティアパスポートは、ふれあいボランティア体験学習における「ふれあいボランティア活動」の“きっかけ”と“継続”に有効なツールです。
- ・最終的には子どもの『人間力』を育むことを目的としています。地域社会での多様な人との出会いによるキャリア教育、そして市民を育てる市民教育の機会としても活用できるツールです。

ふれあいボランティアパスポート事業は、子どもたちの人間力を育むためのSSCと参加校・参加団体等との協働事業として、以下のことをご理解いただきまして、ご参加をお願いいたします。

SSCは、小・中・高等学校、青少年健全育成団体等に、

「ふれあいボランティアパスポート」(以下FVPという。)を無償提供します。

FVP 送料及び感想欄送料は参加校・参加団体等にご負担いただきます。

2. FVPの特徴

FVPは、活動記録欄にその日行った「ふれあいボランティア活動」の内容や感想を6回記録することができるパスポートサイズで三つ折りの記録帳です。

◎児童、生徒の活動に賛同して、支援企業、団体、個人等から当センターがいただいた寄付金の一部(一定額を)社会貢献活動団体に寄付します。

◆活動終了後、6つの社会貢献活動活動団体(A～F)の中から児童・生徒自身が応援したい1団体を選んで○を付けるか、参加している児童・生徒全員で(G)を選んで応援したい団体(A～F以外の団体)1つを決めてもらいます。

◆【ふれあいボランティア体験学習(活動)を終えて(感想欄)】を書いて、裏面の寄付先(A～G)に○をつけて切り取り、SSCに送ってもらうと、各団体に寄付(団体活動支援金)が送られます。

児童、生徒は、「寄付」という言葉を通じて「寄付文化」について学び、更に広い世界の社会貢献活動を学ぶことができます。

※A～Fの社会貢献活動団体は、広く社会で活動し、実績のある団体です。

総合的な学習の時間の「国際理解」・「環境」・「福祉」に対応させて2団体ずつ選んでいます。

Gは、学校や団体の参加児童・生徒全員の総意として、A～F以外の社会貢献活動団体を指定することができます。(6つの社会貢献活動団体のホームページをSSCのホームページに紹介しています。各団体のホームページとリンクしていますので児童・生徒にご紹介下さい。ITルールの活用にもなります。)

社会貢献団体 (寄付先の団体)

A 認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会 <http://www.jcv-jp.org/>

B 認定NPO法人JHP・学校をつくる会 <http://www.jhp.or.jp/>

C 認定NPO法人富士山クラブ <http://www.fujisan.or.jp/>

D 公益財団法人日本野鳥の会 <http://www.wbsj.org/>

E 認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク <http://www.nanbyonet.or.jp/>

F 公益財団法人日本盲導犬協会 <http://www.moudouken.net/index.php>

※G 指定支援団体(その他の団体)

※SSCホームページのトップページ左側のFVPをクリックすると、FVPのページに入ることができます。そこに各団体のリンクがありますので、児童・生徒に各団体のホームページに直接アクセスしてもらい、それぞれの団体の活動を詳しく知ってもらうことで、更に積極的にボランティア体験学習・ボランティア活動の動機付けにつながるなど、ご活用下さい。

3. 創意工夫でふれあいボランティア活動を活発に、そして自主的なボランティア活動へ

—まずは、身近にできる活動から。そして地域の活動へ、更に広い社会、世界へ—
FVPは、“身近な他者の存在への気づき”からスタートし、“なぜ”を大切にして、深く理解し、判断して、自主的に活動に取り組んでもらいたいと思っています。

■FVPは、“良い行いをしたい”、“誰かのためになりたい”と思う児童、生徒の思いに働きかけ、動機付けて、ふれあいボランティア活動に導くためのツールです。

特に、小学校の低学年のみなさんには、身近にいる家族や友人も自分以外の他者であり、身近な環境もみんなのものであることに気づいてもらいたいと思っています。

そして、その身近にいる他者や、身近にある環境(自宅や近所、学校など)で困っていることに気づき、“なぜ”そうなのかを考え、自主的により良くしようとできることをするとか、共感しあい協働することで役に立とう、解決しようと行動する姿勢を育てていって欲しいと考えています。

■FVPは、参加校・団体の指導する立場の皆様のご理解と創意工夫によって、より効果を発揮します。総合的な学習の時間、学級会活動、児童会・生徒会活動、特別活動、部活動など、学級・学年・全校での教育活動の中でボランティア週間・ボランティア月間を定期的に設ける、活動に教師も参加する、記録を確認してほめる、全校集会で紹介する、表彰する、などして、身近にできるふれあいボランティア活動に継続的に取り組むように創意工夫することで、児童や生徒は積極的に活動に参加するようになり、放課後や週末、長期休暇中などの自主的な地域でのボランティア活動にまで、ボランティアの輪が広がっていきます！

4. FVPの3つの選択肢について

「ふれあいボランティアパスポート」は、3つの選択肢を選ぶことができます。「ふれあいボランティアパスポート」、「ふれあいボランティアパスポート フレンズA」、「ふれあいボランティアパスポート フレンズB」です。

1. 「ふれあいボランティアパスポート」(FVP)

SSC作成の「ふれあいボランティアパスポート」を使用します。使用に当たっては、無償でご提供いたします。ただし、送料はご負担いただきます。

2. 「ふれあいボランティアパスポート フレンズA」(フレンズA)

「フレンズA」は、学校・団体オリジナルの「ふれあいボランティアパスポート(名前も自由に決めていただいて結構です。)」を作成いただきます。

児童・生徒の創意工夫を凝らしたオリジナルパスポートの活用も、児童・生徒の意欲を喚起するのに効果的なのではないでしょうか。

ふれあいボランティアパスポートの回収期日の2月15日までに、オリジナルの児童・生徒の「感想欄」の送付と児童・生徒が応援したいと決めたSSC指定のA～F、その他の社会貢献団体への児童・生徒の人数を「回収票」でご報告いただきます。



3. 「ふれあいボランティアパスポート フレンズB」(フレンズB)

「フレンズB」は、FVP、学校・団体作成のオリジナルのどちらも使用しません。

申込みの段階で、参加児童・生徒数をご報告いただくだけです。

社会貢献団体への寄付については、参加児童・生徒数を寄付先A～Fの社会貢献団体に均等に配分します。

「フレンズB」は、学校・団体にとって、大変事務的作業、コスト軽減には効果的ですが、児童・生徒への働きかけを1. 2. よりもしっかりとしていただく必要があります。SSCの「ふれあいボランティアパスポート」の仕組みの中に参加しているという意識付けがより必要になります。

4. FVPの流れ

1) FVPの申込み・送付

①4月から翌年1月末までいつでも申込みできます。

- ・SSC ホームページの「FVP」ページから直接申込む。
- ・「FVP」ページの申込書(PDF)をダウンロードして、FAXするか、E-mail 添付で申込む。
- ・電話で申込む。

②申込確認後、SSCより、FVPを送付します。(送料は、ゆうパックの切手による着払いか、宅配業者の現金着払い)

2) FVPの児童・生徒への配布

児童・生徒、先生もお持ちください。保護者にも渡して一緒に活動していただくと効果的だと思います。

3) ふれあいボランティア活動に取り組む

- ①児童・生徒が「ふれあいボランティア活動」をしたら、その内容をFVPに記録します。すでに他団体の活動に参加していたら、その取り組みもFVPにお書き下さい。新規に活動を始める必要はありません。
- ②6回記録できますが、活動記録欄(6回分)を全部埋めなければ提出出来ないということはありません。1回だけでも構いません。※1回でも取り組んだということが大切なのです。
- ③参加時期に係わらず、当年度4月以降の活動であれば、遡って活動の記録を書いてもらってください。振り返って、活動したことを思い出し、感じたことを記録して心に定着させるためのツールです。
- ④活動記録の「ひとこと欄」は、学校で、自由にご活用ください。保護者に書いてもらったりしても結構です。シールを貼ったり、スタンプを押したり、コメントするなどの工夫で、楽しく活動できます。使用しなくても結構です。

4) FVPの終了 (1月末日までに終了してください。)

1月末、この日より以前であればいつでも結構です。※1月末日は、FVPの終了日です。

学校の「ふれあいボランティア体験学習」の期間をしぼるものではありません。

学校は年度末の学期の終了日まで引き続き取り組んでいただいて構いません。

①実施期間終了後

「感想欄」に、体験してどう思ったか、自分はどうのように成長したと思うかを書かせてください。

②活動支援団体のうち、応援したい団体A～Gを1つ選んで○で囲みます。

③Gの指定支援団体を選ぶ場合は、団体名・連絡先等をご連絡ください。Gを学校・団体として選ぶ場合、各児童・生徒がA～Fの団体に○をつけても、Gの団体に寄付をすることになります。

5) FVP・フレンズAの「感想欄」の回収には、2つの選択肢があります。

◆「感想欄」を回収する

○「感想欄」を回収する場合、希望寄付先への児童・生徒の人数を、申込み時に届いた「回収票」に記載し、学校・団体でまとめて、「感想欄」と「回収票」をSSCに送付する。

①「感想欄」は、お返ししません。

②活動記録欄は、児童・生徒の振り返りに有効です。必ず児童・生徒に返してください。

○「感想欄」は、◎〔2月15日(必着)〕でSSCにお送り下さい。

◆「感想欄」を回収しない

○「感想欄」を回収しない場合、希望寄付先への児童・生徒の人数を確認し、「回収票」に記載してSSCに「回収票」のみをFAXか、Eメール添付で送付する。

FVPIは、活動が終わっても、児童・生徒が振り返りのために持っているように、ご指導ください。

○回収票は、〔2月15日(必着)〕でSSCにお送り下さい。

◎「感想欄」を回収する、しない、どちらでも、結構です。

寄付先を確定させる時に合わせて、担当教員、担当者の皆様には児童・生徒の「感想欄」を是非お読みください。

※尚、児童・生徒のFVPの感想欄やふれあいボランティア活動感想文募集他、FVP事業において児童、生徒、先生、団体、一般の方等から寄せられたもの(活動写真や内容等)については、ふれあいボランティア活動普及のために、使わせていただくこと(ホームページ、会報、その他での紹介や、ふれあいボランティア活動普及のための研究に使用させていただくこと)があります。

その際は、学校名・個人名、場所等は特定できないようにいたしますので、あらかじめご了承ください。

7) 活動支援団体の集計、団体活動支援金の助成

①SSCに集まった参加校・団体の「感想欄」の回収票を元に、社会貢献団体ごと応援希望人数を集計し、全体数から各団体の割合を出します。

②集計の割合をもとに、活動支援金を各団体(前記)に助成します。

③活動支援金の金額は、各年度によって変わります。

8) 結果報告

最終集計・助成の結果は、年度末までにホームページに掲載、紹介します。

9) お願い

①児童・生徒の活動を積極的に認めてほめてください。

「ひとこと欄」は、大人にほめて(励まして)いただくための欄です。子どもたちは、先生や保護者などに認めてもらうことが活動の原動力になります。

ホームルーム、学級会活動、生徒会活動や、学校行事、総合的な学習の時間などさまざまな場面で励ましたり、ほめたりしてたくさん声かけをして、子どもたちの活動を認めてあげて下さい。

②FVPの取り組みルールは、児童・生徒が楽しく取り組めるように、自由にお決め下さい。

③保護者にも「ふれあいボランティア体験学習」と「ふれあいボランティア活動」へのご理解とご参加を呼びかけてください。

参加希望の保護者にもFVPをご提供いたします。保護者の方が参加する場合、子どもと保護者で1冊を共有しても、それぞれ1冊ずつFVPを使用しても、どちらでもかまいません。

**「ふれあいボランティア活動」の輪を広げることに協力ください！
FVPを他の学校や団体等に、是非、ご紹介ください。**

【申込み・問い合わせ先】 認定NPO法人さわやか青少年センター
〒167-0043 東京都杉並区上荻1-24-17 丸華ビル5階
認定NPO法人さわやか青少年センター事業所
ふれあいボランティアパスポート事業 担当：有馬
TEL：03-6279-9236 / FAX：03-6279-9256
URL：http://www.ssc-npo.or.jp / E-mail：info@ssc-po.or.jp